

### 地域のみなさんが行う緑化活動に樹木を配付しました！

▶ 配付先 74 箇所 配付本数 1,951 本

樹木の種類			
イロハモミジ	328 本	ソメイヨシノ	316 本
セイヨウカナメ	259 本	サザンカ	243 本
ヤマザクラ	232 本	キンモクセイ	190 本
サルスベリ	151 本	ハナミズキ	115 本
コブシ	50 本	ハクモクレン	37 本
ヤマモモ	30 本		

### 「なぜ？ どうして？ から始まった園庭ビオトープ大作戦！！」

活動主体：富田林市立錦郡幼稚園PTA / 場所：富田林市立錦郡幼稚園

富田林市立錦郡幼稚園では、7年前から「なんで幼稚園にツバメは飛んでこないの？」「どうしてお庭にオタマジャクシはいないのかな？」といった子どもたちからの「なぜ？」「どうして？」という疑問を持って自然や生き物に興味や愛着をもつ心を育もうと富田林の自然を守る会の方と一緒に園庭でビオトープ作りを始めました。

これまでに池作りや腐葉土作り、里山の木を園庭に植樹する等の整備を行ってこられました。今回は「子ども達に、さらに五感を使って楽しめる機会を作りたい。」という園長先生の強い思いから、モミジの紅葉やキンモクセイの香り、ヤマモモの実の味わいなど、季節ごとに、子ども達が五感を使って楽しめるよう樹種選びや配置にもこだわって植栽されました。

一緒に植樹活動に参加したことで、子ども達も木々に愛着をもち、今では木の根元の土が乾いていたら「大変！のどが渴いているよ！」と、率先して水遣りを行っています。ビオトープができたことで鳥や虫が訪れるようになり、自然との触れ合いを通して、自然を思いやる気持ちが育まれています。また、地域の方を招いてビオトープの集いを開催する等、子ども達と地域の方の交流の場としても大切な役割を担っています。

園長先生は「今回の植樹活動のように、子ども達がみんなで活動することで自然に対する思いを共有することを大切にしている。これからも子ども達の豊かな感性を大切に、自然との触れ合いを通して、『なぜ？』『どうして？』と考える力を養っていきたい。また、人や生き物が集まる憩いの場として、地域に愛される幼稚園であり続けたい。」とおっしゃっていました。



みんなで協力して植えたよ！



大きくなってね！！



みて！たくさん生き物がいるよ！

## 樹木の配布事業

### 「地域を守るみどりの名所づくり」

活動主体：森区山地保全会 / 場所：交野市森区

森区山地保全会は、50名程度の会員により構成されており、森区内の個人や財産区が所有している山の管理等の活動を行っています。

森区一帯は元々、個人所有の山が多く、近年、所有者の高齢化等により放置される森林の増加やナラ枯れの発生などにより森林の荒廃がみられることから、山崩れや倒木を防止するために、森林の管理に積極的に活動されているそうです。

また、同保全会は、周辺地域から多くの人々に見に来ていただけるようなみどりの名所づくりにも取り組まれており、今年度は、彩のある森づくりを目指して、荒廃した森林の倒木や枯木を除去し配布したサクラやモミジといった樹木を植栽されました。

植えていただいた木が大きく育ち、季節の花を地区ではこれ以外にも、交野市の花であるサクラを地元の小学校の卒業生に卒業記念として植えてもらう活動にも、継続して取り組まれているそうです。今後も、森林の管理を行うとともに、地域の皆さんに愛着を持ってもらえるみどりの名所づくりを継続されていくとおっしゃっていました。



サクラの苗木

### 「子どもたちにホタルをもう一度！！」

活動主体：東條地区10町連合会「東條ホタル守る会」/場所：富田林市農業公園サバーファーム内ホタルの里

東條地区10町連合会「東條ホタル守る会」は、「自分たちが小さいころまわりにあった自然を取り戻そう」という思いから、平成20年に、東條地区の10町連合会を中心に結成され、自然を再生する活動のひとつとしてホタルの保護活動を始められました。

活動が始まって4年が経過したころからは、ホタルがみられるようになり、毎年行っていた鑑賞会には多くの人々が訪れていたとのことでした。しかしながら、平成28年10月の台風により活動地内で土砂崩れが発生し、ホタルの生息地が埋まってしまったそうです。



ホタルの止まり木

それでも、「東條ホタル守る会」の方々は、「ホタルの名所となっていたこの場所で、もう一度、地域の子供達にホタルを見せてあげたい。」との強い思いをもって立ち上がり、崩れた土砂を取り除き、ホタルが生息する空間を再生すべく取り組まれています。今回は、ホタルの止まり木となるサザンカなどの苗木15本を植栽されました。

今後は、「ホタルが生息しやすい環境をみんなで維持し、ホタルを呼び戻して、もう一度地域の子供達が自然の大切さや豊かさを感じられる場所にしていきたい。」と話されていました。